

報道関係者各位

2023年 AI事業投資の最新予想をサクソバンクのアナリストが公開

話題のChatGPTで高まるAlphabet社の投資家が抱えるリスク

サクソバンク(Saxo Bank A/S)の株式戦略責任者である Peter Garnry (ピーター・ガンリュー) によるAI事業投資の動向分析を発表しました。

AIセクターへの投資について、「話題のChatGPTが、いずれGoogleの検索エンジンの脅威となり得るといった話は極めて現実味を帯びており、Googleの親会社であるAlphabet社の投資家が抱えるリスクは高まっています」とコメントをしています。



■ 2023年のAIセクターへの投資について

話題のChatGPTが、いずれGoogleの検索エンジンの脅威となり得るといった話は極めて現実味を帯びており、Googleの親会社であるAlphabet社の投資家が抱えるリスクは高まっています。一方、Alphabet傘下のAI開発企業であるDeepMindは、ChatGPTに対抗する新製品を年内にリリースすると宣言しています。そのテクノロジー自体がすでに革命的なものです、特許化されている点や、大規模言語モデル（LLM）のコピーを可能にすることこそ、まさにDeepMindが目指していることです。ここからの大きな課題は、LLMトレーニングに要する莫大なコストの削減だけでなく、クエリやレスポンスの高速化を実現する上で技術的な課題をクリアすることです。マイクロソフトがはたしてLLMに過剰な投資を行っているのかどうかを見極めるには、まだかなり長い時間が必要となります。

■ Google株の今後の見通しについて

Alphabet社は2018年以降に売上高、純利益ともに2倍以上拡大しており、依然として強固なビジネス基盤を確立しています。反トラスト法違反を巡る訴訟は、米国の大手テック企業を取り巻く事業環境の一部として逃れることの出来ないものとなっており、投資家にとってさほど強い懸念材料とはならないと考えています。

それよりもAlphabet社に関する投資家の懸念は、経済全体が減速することで広告単価が減少し、ネット広告事業が打撃を受けることです。そして今、OpenAIのChatGPTがGoogleの検索エンジンビジネスを隅に追いやる可能性が出てきました。マイクロソフトが最近行ったOpenAIとChatGPT開発に100億ドル規模の資金を投じた背景には、Alphabet社とGoogleに対抗する狙いがあると受け取られています。ただし、Alphabet社傘下のAI開発企業DeepMindは、すでにChatGPTに対抗する製品をリリースすると宣言しており、ChatGPTがAlphabet社の事業に与える影響は限定的なものにとどまる可能性もあります。しかし、Alphabet社を保有する投資家が抱えるリスクは確実に高まっています。

■ピーター・ガンリュウ（Peter Garnry）について

2010年にサクソバンクに入社し、現在株式戦略責任者を務める。2016年には、金融市場へコンピューターモデルを応用する手法に特化したクオンツ戦略チームの責任者に就任。株式市場と個別株式の分析を行っています。

<https://www.home.saxo/ja-jp/insights/news-and-research/authors/peter-garnry>

■サクソバンク(Saxo Bank A/S)について

1992年に設立されたサクソバンク（Saxo Bank A/S、以下サクソバンク）は、デンマーク金融監督庁の認可を受け、同国コペンハーゲンに本社を置くグローバルオンライン銀行です。ロンドン、アムステルダム、シンガポール、上海、香港、シドニー、東京、パリ、チューリッヒ、ドバイなど、世界中の金融センターに60国籍以上、2,100人以上の従業員がおり、世界180カ国以上の顧客やパートナーにサービスを提供しています。サクソバンクの取引・投資プラットフォームは25カ国語で40,000以上の商品が提供されています。

■サクソバンク証券株式会社について

サクソバンク証券株式会社は2006年に設立され、サクソバンク（Saxo Bank A/S）の100%子会社であり、金融庁の認可を受けたオンライン証券会社です。150種類以上の通貨ペアを提供する外国為替証拠金（FX）、9,000銘柄以上を取り扱うCFD、米国・欧州・中国をはじめとする11,000銘柄以上を取り扱う外国株式など多彩な商品を競争力のある取引手数料で提供しています。より詳しい情報はホームページをご覧ください。

<https://www.home.saxo/jp>

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第239号、商品先物取引業者

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー22F

加入団体：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本投資者保護基金、日本商品先物取引協会

【ご留意事項】

- 当予測は、サクソバンクグループのアナリストによるマーケット分析レポートの転載、もしくは外部のアナリストからの寄稿となっております。
- 当予測は、いずれも情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当予測は、作成時点において執筆者またはサクソバンク証券（以下「当社」）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいていますが、執筆者または当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。当資料の利用により生じた損害についても、執筆者または当社は責任を負いません。
- 当予測で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これら意見はあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。
- 当予測に記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。
- 当予測の全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。
- 上記のほか、当予測の閲覧・ご利用に関する「[免責事項](#)」をご確認ください。
- 当社が提供するデリバティブ取引は、為替相場、有価証券の価格や指数、貴金属その他の商品相場または金利等の変動によって損失を生じるおそれがあります。また、お預けいただく証拠金額に比べてお取引可能な金額が大きいため、その損失は、預託された証拠金の額を上回る恐れがあります。
- 当社が提供する外国証券取引は、買付け時に比べて売付け時に、価格が下がっている場合や円高になっている場合に損失が発生します。手数料については、「取引金額×一定料率」又は「取引数量×一定金額」で求めた手数料が一回の取引ごとに課金されます。ただし手数料の合計額が当社の定める最低手数料に満たない場合は、手数料に代えて最低手数料を徴収させていただきます。また取引所手数料等の追加費用がかかる場合があります。
- 取引にあたっては、取引説明書および取引約款を熟読し十分に仕組みやリスクをご理解いただき、発注前に取引画面で手数料等を確認のうえ、ご自身の判断にてお取引をお願いいたします。
- 当社でのお取引にかかるリスクやコスト等については、[こちら](#)も必ずご確認ください。